

## 平成 2 1 年度事業報告

### I 基本方針

財団法人しまね国際センターは、地域の国際化を進める中核的な機関として1989年(平成元年)に設立されて以来、多面的な国際交流、国際協力事業を実施するとともに、市町村・民間団体等の国際交流活動に対する支援と連携を強化しつつ、より幅広い地域や県民のニーズに応えられる組織としてその体制の充実に努めてきた。

しかし、近年あらゆる分野における情報化・国際化の進展に伴い、外国人住民の数は約6,000人近くとなり、様々な場面での確かな情報の提供と対応が求められる一方、市町村や民間団体等でも多様性のある国際化事業や国際交流活動が行われるようになってきた。

こうした状況を踏まえ、平成18年9月「あり方検討委員会」を設置し、その報告を基に、

その目標を 「しまねから世界とつながる人づくり」  
「外国人も安心して暮らせるしまねづくり」とし、  
事業方針を 「多文化共生の社会づくりに向けた環境整備」  
「県民主体の交流・協力活動の推進と支援」  
「財団の活動状況等の周知(徹底)」

の3つに定め、平成19年度から21年度まで計画的に事業を実施することとした。

その3年目となる21年度は、設立20周年を迎える節目の年でもあったが、財団の置かれた厳しい状況にも鑑み、多文化共生の地域づくりを主軸とする事業を更に広域的・効率的に実施し、地域社会に根ざした事業とすべく専心努力した。

事業実施に当たっては、市町村、関係機関・団体との連携・協力を引き続き強化し、また積極的な広報活動を取り入れることにより県民の理解と協力も得ながら、多様な活動に協働して取組んだ。

今年度の重点事業は、次のとおりである。

## Ⅱ 重点事業

### 1 情報収集・提供事業の拡充・強化

受け手を意識した情報発信と広報が効果的に実施できるよう、定期的なマスメディアの活用や仕組みを整える努力をした。

特に、外国人住民への情報提供については、必要とされている内容かどうか検証しながらニーズの把握に務め、提供内容に反映させた。

また、S I Cの事業広報については、さまざまな機会を捉え、積極的に展開した。

### 2 国際交流・協力事業の充実

市町村、国際交流関係団体等との役割分担と連携を図りながら事業にあたり、助成事業については、その活動がより県内の広域的な交流や県民活動につながる事業を優先して支援した。

また、日韓親善「島根少年の翼」事業については、20回記念を区切りとし見直しを図り中止としたが、韓国からの受け入れについては要望を踏まえ、引き続き実施する方針である。

### 3 多文化共生事業の拡充・強化

地域社会に対する意識啓発を推進し、地域住民や各種団体、とりわけ市町村との連携・協力を進め、波及効果の高いモデル的な事業を実施した。

特に、外国人住民が直面する課題の解決に向け、多言語によるコミュニケーション支援やボランティア活動の推進など、直接的・間接的に「多文化共生」の社会づくりに取組んだ。

### 4 財団経営について

財団の役割を明確にし、新公益財団法人の認定が得られるよう諸規定、組織体制等を整えた。

事業の選択と集中、効率化を図ると共に、関係諸団体、民間企業等との協働事業を企画実施した。

多様化・複雑化する社会環境の中で、今後財団が担う役割と事業を検討し、「公益法人認定検討委員会」の設置が理事会で承認された。

### Ⅲ. 事業の概要

#### 1 情報収集提供事業

##### (1) 情報収集提供事業

各種相談に対応し様々な情報や経験の共有を図る一方、マスメディアの有効活用、広報活動を積極的に行った。

特に、外国人住民支援を視野においた情報の収集と発信に努めた。

##### ア 多言語・多文化リソースコーナー

情報拠点の機能を果たすべく、情報の収集と整備を図った。

インターネットの無料使用サービスを提供した。

##### イ 図書・地図・国旗・民族衣装等の貸出

世界各国の国旗・卓上旗・民族衣装、世界各地域の地図等を整備し貸出をした。

##### <図書等>

区 分	図書等	保有数	貸出件数 (冊数等)
本 所	図 書 (冊)	1,310	21(33)
	ビデオ (本)	320	9(12)
	雑 誌 (誌)	28	6(14)
	新 聞 (紙)	7	1 (2)
支 所	図 書 (冊)	1,145	43(97)
	ビデオ (本)	330	2(2)
	雑 誌 (誌)	7	—
	新 聞 (紙)	1	—

##### <国旗等> 貸出料 計 41,750 円

区 分	国旗等	保有 国数	保有数	貸出件数 (枚数等)
本 所	国 旗 (枚)	90	195	50(189)
	卓 上 旗 (枚)	93	166	
	民族衣装 (着)	12	27	1(2)
	地 図 (枚)	21	22	—
支 所	国 旗 (枚)	21	26	3(6)
	卓 上 旗 (枚)	16	25	

ウ 「SIC 応援団ニュース」の発行（賛助会員向け 隔月）  
賛助会員を対象に SIC 事業における新しい取り組みや事業の成果を伝えた。  
対象者 賛助会員 128（個人 96 団体 32 平成 22 年 3 月末）

エ 機関誌「まいるすとんず」の発行（年 2 回）  
発行部数 2,000 部  
配付先 賛助会員、ボランティア登録者、県内外国際交流団体、市町村、  
県内高等学校・大学、在外県人会、社会教育文化施設等

オ メールマガジンの配信

（ア）PC 向け日本語メールマガジンの配信（月 2 回）

国際センターのイベント情報や国際交流・協力活動、多文化共生事業に  
関する情報を登録者に配信した。

登録者数 287 人（平成 22 年 3 月末）

（イ）携帯電話向け多言語メールマガジンの配信（週 1 回程度）

外国人住民向けの生活・イベント情報を英語、中国語、タガログ語、  
ポルトガル語で登録者に配信した。

（詳細は多言語情報発信事業）

カ HP による情報発信

多言語サイト（英語・中国語・タガログ語）を開設した。

（外国人住民への防災情報を含む）

キ 広報戦略の強化

（ア）イベントへの広報出展

県民と触れ合う機会を持ち、SIC の活動の理解を深めた。

東部 しまね映画祭 SIC 企画「ジャンボ！アフリカ！」

月 日：平成 21 年 10 月 3 日（土）

場 所：タウンプラザしまね 2F（松江市）

内 容：ワークショップ「ケータイの一生」、  
コンゴ紹介ビデオ上映（Oxfam Japan 提供）など

参加者：16 名

その他：JICA 島根デスクと共催

国際交流イベント ～おどって食べてしゃべって世界と出会おう！～

月 日：平成 21 年 10 月 25 日（日）

場 所：松江市市民活動センター（STIC ビル）1F

内 容：ブース出展（世界のお茶、パネル展示、民族衣装の試着）

参加者：総入場者数 700 人

しまね人権フェスティバル（ヒューマン・フェスタ）

月 日：平成21年11月1日（日）

場 所：大社文化プレイス（うらら館）（出雲市）

内 容：世界のお茶、パネル展示

参加者：総入場者数900人

西部 島根県立大学“海遊祭”

月 日：平成21年10月10日（土）、11日（日）

場 所：島根県立大学（浜田キャンパス）（浜田市）

内 容：パネル展示、CIRのクイズ、フェアトレード紹介、異文化理解ワークショップ

参加者：のべ200人（クイズ参加者100人、ワークショップ13人）

その他：JICA 島根デスク、学生NGO（YEH）との共同出展

旭ふる里まつり2009

月 日：平成21年11月8日（日）

場 所：旭センター2F（浜田市旭町）

内 容：パネル展示、世界クイズ、民族楽器、切り絵、折り紙

参加者：60人

その他：浜田国際交流協会、JICA 島根デスクとの合同出展

(イ) マスコミ掲載事例

- ・「しまね国際センター 1団体と個人に国際化功労表彰」

山陰中央新報 平成21年6月13日（土） \*表彰は6/12、後掲

- ・「北東アジアの若者 ホームステイ先募集 しまね国際センター」

山陰中央新報 平成21年7月8日（水）

- ・「ホストファミリー募集のお知らせ」

松江市まーぶるテレビ 7月18日（土）、19日（日）、20日（日）

\*北東アジア交流の翼 in しまね事業のホームステイ募集に関して

- ・「アフリカ諸国 現状学ぶ 松江で市民講座」

中国新聞 平成21年10月4日（日） \*前掲、10/3の行事

- ・「募集 中国語通訳ボランティア養成講座の参加者」

山陰中央新報 平成22年1月5日（火）

- ・「中国語通訳に挑戦しよう 19日、松江 ボランティア養成講座」

読売新聞 平成22年1月5日（火）

- ・「受診想定し中国語通訳 松江で養成講座 20人が表現など学ぶ」

山陰中央新報 平成22年1月20日（水） \*後掲、1/19実施事業

## 2 国際交流・協力事業

### (1) しまね発！世界体験スタディーツアー事業（韓国編） 【中止】

日韓親善「島根少年の翼」の成果を踏まえ、体験活動を主とした国際交流・協力事業を実施する予定だったが、募集時期における新型インフルエンザ発生のため、事業を中止した。

### (2) 世界とつながる島根づくり助成事業

民間団体が行う各種国際交流・多文化共生の活動に対して必要な経費の一部を助成することにより、地域における幅広い国際交流を通じて、県民の国際理解の促進を図った。

また、要綱の全面的改定を行い、対象経費の基準を明確にし、3年以上継続の事業についても助成するよう制度を整えた。

助成件数 20 団体  
助成額 4,349 千円

分野	件数	交付金額（千円）
国際交流事業	8	2,256
多文化共生 （うち日本語教室関係）	8 (5)	1,411 (775)
その他	4	682
合計	20	4,349

### (3) 留学生等支援事業

県民や企業の方々の理解と協力を得て奨学金を募り、留学生が経済的・精神的に安定した生活の中で勉学ができるよう支援した。

#### ア くまびき奨学金交付事業

対象：県内の大学(院)に在籍し、他の奨学金を受けていない私費留学生  
奨学金：月額2万円（1年間交付）  
人員：12人

イ 外国人留学生短期宿舎提供事業（平成 21 年度利用者なし）

内 容：来県直後にアパート等宿舎が確保されていない留学生に、しまね国際センターが管理運営するしまね国際研修館を宿舎として短期間提供する。

(4) 市町村・国際交流団体等連携会議開催事業

国際交流・協力団体、日本語教室等、地域における国際化推進・多文化共生活動を行う団体等と市町村が一堂に会し、双方の情報提供・意見交換の場を県内 3 ヲ所で設けた。（県共催事業）

時 期：平成 21 年 6 月

場 所：浜田会場（浜田合同庁舎 6 月 9 日）

隠岐会場（隠岐支庁別館 6 月 11 日）

松江会場（島根県職員会館 6 月 12 日）

(5) 功労者顕彰事業

国際交流・国際協力・多文化共生活動など島根県の国際化に尽力し、その功績が特に顕著な個人・団体を顕彰した。

受賞者及び団体 荒木八洲雄（松江市）  
出雲ホストファミリーの会（出雲市）

(6) 海外県人会支援事業

南米の 3 県人会が行う会員の研修・指導・援助活動等に必要な経費の一部を助成するとともに各種情報の提供を行い、県人会活動の活性化を図った。

なお、パラグアイ県人会は平成 20 年度より活動中止のため支援を終えた。

南米県人会への助成額：ブラジル	60 万円	（ 341 世帯	約 1,280 名 ）
アルゼンチン	10 万円	（ 29 世帯	107 名 ）
ペルー	10 万円	（ 8 世帯	31 名 ）

(7) 島根県海外移住家族会支援事業

県と連携を図り、島根県海外移住家族会事業を支援した。

家族会 会員数 94 個人・団体

(8) 海外技術研修員受入事業 《受託事業・県》

研修期間：平成21年6月24日～平成21年12月9日  
6月26日～7月31日 日本語研修（しまね国際研修館）  
氏名：白 暁龍（バイ シャオロン）  
性別：男  
出身：中国  
研修先：島根県立中央病院  
研修内容：形成外科

研修期間：平成21年7月9日～平成21年12月9日  
7月10日～7月31日 日本語研修（しまね国際研修館）  
氏名：ホルキナ・マリーナ  
性別：女  
出身：ロシア  
研修先：島根県文化国際課  
研修内容：一般行政・観光

(9) 自治体職員協力交流研修員受入事業 《受託事業・県》

研修期間 平成21年5月25日～平成21年12月9日  
5月28日～6月25日 日本語研修  
(全国市町村文化研修所/JIAM：滋賀)  
6月26日～7月31日 日本語研修（しまね国際研修館）  
氏名：納 晨岩  
性別：女  
研修先：島根県文化国際課  
研修内容：一般行政・観光

(10) プログラムコーディネート事業 《受託事業・県》

韓国、中国、ロシア沿海地方等の北東アジア地域自治体との連携事業に係るプログラムコーディネート業務並びに外国青年招致事業に係るプログラムコーディネート業務及びカウンセリング業務を行った。

### 3 多文化共生事業

#### (1) コミュニケーション支援事業

多言語による情報提供や通訳ボランティアの派遣、相談窓口の設置、日本語教室の紹介など、外国人住民の抱える課題解決を支援した。

##### ア コミュニティ通訳ボランティアの派遣及び充実

コミュニティ通訳の派遣により、日常生活の様々な場面におけるコミュニケーションを円滑にした。また、ボランティアのレベル向上等のための勉強会を開催した。

##### (ア) 同行通訳

期 間：平成 21 年 4 月～平成 22 年 3 月

内 容：個別の依頼に応じたコミュニティ通訳ボランティアの派遣、自治体・公民館主催事業等への派遣、SIC 事業関係活動等

対 象：外国人住民および行政窓口、各種相談窓口、病院、学校等

派遣件数：51 件（英語 46 件、中国語 1 件、タガログ語 4 件）

派遣者数：61 人（英語 56 人、中国語 1 人、タガログ語 4 人）

##### (イ) 勉強会の開催

###### < 東部地域 >

###### 1) テーマ：乳幼児訪問について

月 日：平成 21 年 6 月 3 日（水、英語）、6 月 5 日（金、中国語）

場 所：タウンプラザ 6 階 小会議室（英語）

出雲市役所 402 会議室（中国語）

参加者：英語 9 人、中国語 7 人

講 師：（英語）ニコラ・ジョーンズ（島根県 国際交流員）

（中国語）王笛笙（島根県 国際交流員）

###### 2) テーマ：外国人児童生徒の日本語指導や適応指導について

月 日：平成 21 年 8 月 4 日（火、英語・中国語・タガログ語）

場 所：出雲市合同庁舎

参加者：英語 2 人、中国語 0 人、タガログ語 3 人

その他：義務教育課主催研修（指定講座として）

###### 3) テーマ：新型インフルエンザについて

月 日：平成 21 年 10 月 19 日（月、英語）、11 月 8 日（日、タガログ語）

11 月 24 日（火、中国語）

場 所：タウンプラザ 6 階 小会議室（英語）、SIC 会議室（タガログ語）

出雲市役所 402 会議室（中国語）

参加者：英語 11 人、タガログ語 6 人、中国語 7 人  
講 師：(英語) ジェイソン・レザー (島根県 国際交流員)  
(タガログ語) 山田コラソン (広島フイリピンアソシエーション所属)  
(中国語) 王麟 (島根県 国際交流員)

- 4) テーマ：通訳トレーニング (英語)  
月 日：平成 21 年 12 月 22 日 (火)  
場 所：県庁会議棟 第 5 研修室  
参加者：8 人  
講 師：曳野 渚 (S I C 総務交流グループ コーディネーター)
- 5) テーマ：SIC アンテナサロン・葬祭マナーについて (指定講座として)  
月 日：平成 22 年 2 月 27 日 (英語・中国語・タガログ語)  
場 所：カワツ会館 (松江市)  
参加者：英語 5 人、中国語 0 人、タガログ語 0 人

#### <西部地域>

- 1) テーマ：新型インフルエンザについて  
月 日：平成 21 年 7 月 23 日 (木、英語・中国語・韓国語)  
場 所：西部支所 研修室  
参加者：英語 4 人、中国語 2 人、韓国語 1 人  
講 師：英 語 エヴァン・アンダーソン (浜田市 国際交流員)  
中国語 馬 媛 (しまね国際センター西部支所 国際交流員)
- 1) テーマ：通訳のノウハウとスキルアップ学習  
月 日：平成 22 年 3 月 8 日 (月、英語・中国語・韓国語)  
場 所：西部支所 研修室  
参加者：英語 4 人、中国語 1 人、韓国語 1 人  
講 師：小豆澤 美穂 (島根大学外国語教育センター 嘱託職員)

#### (ウ) その他

中国語コミュニティ通訳養成講座の準備段階として中国語通訳講座  
(初級編) を開催した。  
月 日：平成 22 年 1 月 19 日  
場 所：松江市国際交流会館  
内 容：簡単な病院受診での通訳演習  
講 師：胡 斌 (松江市中国語教師連盟 中国語教師)  
参加者：15 人

## イ 多言語情報の発信

多言語による定期的な情報提供を行った。

### (ア) 携帯電話向け多言語メールマガジン「ifms.jp」の配信

内 容：生活情報、イベント情報等

言 語：英語、中国語、タガログ語、ポルトガル語

時 期 等：各言語週1回程度

登録者数：1,112人（平成22年3月末）

登録言語：英語 88人 中国語 52人 タガログ語 55人  
ポルトガル語 917人（実数200人以内）

### (イ) 住民参加型多言語Webサイト「TanoShimane（たのしまね）」を運用した。

## ウ 外国人住民への相談業務 《受託事業・県》

毎週3回、多言語による相談日を設け、外国人住民からの相談に対し必要な情報を提供したり、専門機関への橋渡し等を行った。

言 語：英語、中国語、タガログ語

場 所：本所（各言語週1回、半日）

方 法：電話・来所・メールによる相談に対応

相談件数：213件（東部176、西部37）平成22年3月末

## エ 日本語教室の運営支援 《受託事業・県》

外国人住民、市町村に対し日本語教室の活動をPRするとともに、県内日本語ボランティアグループの研修の場を設け、活動の活性化、グループ間の連携強化を図った。

### (ア) 日本語教室MAPの作成・配布

内 容：教室の開催日時、交通アクセス、連絡先等

言 語：英語、中国語、タガログ語、ポルトガル語

部 数：1,500部

配布先：市町村外国人登録窓口、国際交流主管課等

### (イ) 日本語ボランティアネットワーク会議の開催

地域の日本語教室活動の活性化できるようきっかけづくりと県内日本語ボランティアグループ同士の交流と情報交換の場とした。

月 日：平成22年3月13日（土）

（東部）10:15-12:30 （西部）13:30-15:30

場 所：（東部）ビッグハート出雲、（西部）美郷町役場山村開発センター

内 容：（東部）事例発表、意見交換、情報共有、

（西部）ワークショップ、日本語研修、情報共有

参加者：（東部）7人、 （西部）9人

## (2) 多文化共生地域づくり事業

多文化共生の地域づくりに向けて、地域社会に対する意識啓発を推進し、情報提供や事例を紹介することにより、市町村や民間交流団体等の事業推進にあたり「協働」の考え方を共有した。また、関係機関や日本語教室など地域住民と連携して、外国人住民が様々な生活情報を共有できる場所を提供した。

### ア 多文化共生出前研修

外国人住民の社会参加を促すために、関係機関や日本語教室など、地域住民と外国人住民が様々な生活情報を共有できる場を作った。

#### (ア) 多文化共生研修会の開催(市町村・国際交流団体等連絡会議に併せて開催)

市町村職員、国際交流団体等の会員を対象に、県内3箇所で開催し、多文化共生の地域づくりについて学んだ。

テーマ：多文化共生の地域づくり

講師：大野 慎一 全国市町村国際文化研修所 (J I A M) 学長  
(多文化共生マネージャー)

志渡澤祥宏 全国市町村国際文化研修所 総括研修主幹

##### 1) 西部会場

月 日：平成21年6月9日(火)

場 所：浜田合同庁舎(浜田市)

参加者：17人

##### 2) 隠岐会場

月 日：平成21年6月11日(木)

場 所：隠岐支庁別館(隠岐の島町)

参加者：17人

##### 3) 東部会場

月 日：平成21年6月12日(金)

場 所：島根県職員会館(松江市)

参加者：23人

#### (イ) アンテナサロンの開催

「風習・文化」「危機管理」などのテーマを持って、外国人住民も気軽に参加し情報交換や異文化理解を深める機会を、開催地域の市町村や関係団体と協働して、県内2ヶ所で提供した。

##### 1) 益田市

月 日：平成21年8月9日(日)

場 所：益田市人権センター(あすなろ館)

参加者：24人

内 容：新型インフルエンザ最新情報、予防と咳エチケット、発熱相談センターと発熱外来等

講 師：松田英治（島根県益田保健所 主任）

共 催：益田市、益田市人権センター、日本語ボランティアグループ ともがき

## 2) 松江市

月 日：平成 22 年 2 月 27 日（土）

場 所：カワツ会館（松江市西川津町）

参加者：18 人

内 容：島根の葬祭マナー、葬儀の流れ、葬祭式場の見学等

講 師：太田敦久（株式会社博愛社 代表取締役）

共 催：松江市、松江市国際交流協会

協 力：株式会社博愛社

## イ 多文化共生支援相談窓口

総務省が策定した「多文化共生推進プラン」に基づき、自治体や企業、地域での多文化共生社会の実現に向けた取り組みへの相談窓口を本所に設けた。

対応件数：7 件

1) 総合的な学習「それぞれのプロジェクト X」

（平成 21 年 9 月 24 日、大社高校、参加生徒 13 人）

2) 淞北台地域交流（昼食交流会、防災訓練、おひなさま交流会）

5) 人権研修会（平成 21 年 12 月 3 日、平田中学校 1 年生、約 200 人）

6) 多文化共生研修会（平成 22 年 2 月 2 日、出雲第 2 中学校、約 500 人）

7) 地域文化を語り在住外国人と私たちが共生できるまちづくり

（朝日公民館、平成 21 年 4 月～平成 22 年 3 月）

## (3) ボランティア活動推進事業

ボランティア活動の活発化と定着を図るため、講座を実施した。あわせて、関連する情報や参加できる場を提供し、積極的な支援を行った。

### ア ボランティアの募集・登録・更新（登録者数 H21 年度/H20 年度）

・語学ボランティア	（ 161 名 / 150 名）
・ホームステイホームビジット受入ボランティア	（ 78 名 / 73 名）
・日本語ボランティア	（ 101 名 / 98 名）
・多文化紹介ボランティア	（ 31 名 / 31 名）
・子どもサポーター	（ 87 名 / 84 名）
・コミュニティ通訳ボランティア	（ 37 名 / 43 名）
・国際コンベンション通訳ボランティア	（ 27 名 / 31 名）

イ 活動機会の提供と相談・活動支援

登録区分(単位)		語学(人)	ホームステイ (家庭)	日本語 (人)	多文化紹介 (人)	子ども サポーター(人)
活動 件数	21年度	18	20	0	0	7
	20年度	34	24	1	0	11

(ア) 北東アジア交流の翼 in しまね事業ホームステイ業務 《受託事業・県》

島根県が交流を進めている北東アジア地域の青年達が、平成21年7月30日～8月4日までの6日間島根県に滞在し、県内の青年達と文化体験などを通じて交流する事業で、このうち、ウェルカムパーティー、ホームステイを実施した。

<ウェルカムパーティー>

日 時：平成21年8月1日（土）

場 所：松江市 サンラポーむらくも

参加者：85人（外国人青年、随行者、島根県参加者、ホストファミリー等）

<ホームステイ>

受入期間：平成21年8月1日（土）～2日（日） 1泊

参加者：20人（中国寧夏回族自治区4、中国吉林省4、中国湖北省3、ロシア沿海地方2、韓国テグ韓医大学校韓医大3、東国大学校4）

協力家庭：20家族

(イ) 国際コンベンション通訳ボランティア業務 《受託事業・くにびきメッセ》

くにびきメッセ誘致の国際会議における会議受付やエクスカージョン（会議開催期間中に行われる団体旅行）における通訳者の研修、登録、派遣にかかるコーディネートを行った。

登録者数：28人

国際会議数：1件

受付業務：8人（のべ）

エクスカージョン：3人（のべ）

ウ ボランティア実践講座の開催

(ア)「ちょっとボランティア」講座 (入門者向け)

1) 中国語通訳講座 (初級編) の開催 (前掲 コミュニケーション支援事業)

月 日：平成 22 年 1 月 19 日

場 所：松江市国際交流会館

内 容：簡単な病院受診での通訳演習

講 師：胡 斌 (松江市中国語教師連盟 中国語教師)

参加者：15 人

(イ)「ほっとボランティア」講座 (活動者向け)

1) 国際コンベンション通訳ボランティア研修会

月 日：平成 21 年 6 月 28 日 (日)

場 所：タウンプラザしまね 2F 交流スペース及び松江市内

参加者：国際コンベンション通訳ボランティア 11 人

内 容：通訳ガイド講習、松江市内観光演習 (松江城周辺、堀川遊覧等)

講 師：三輪 真理子 (通訳ガイド・広島市在住)

協力者：外国人観光客役 計 7 人

日 (1)、米国 (1)、インドネシア (1)、コロンビア (1)、中国 (2)  
ブータン (1)

2) 翻訳講座 (英語)

月 日：平成 22 年 2 月 25 日 (木)

内 容 チラシ、手紙の翻訳

場 所 タウンプラザ 6 階 中会議室

講 師 ニコラ・ジョーンズ

参加者 14 人 (語学ボランティア 10 人、コミュニティ通訳ボラン  
ティア 3 人、一般 1 人)

(ウ)「もっとボランティア」講座 (リーダー対象) 《受託事業・県》

1) 「日本語活動ステップアップ研修」(全 3 回)

～活かし、動かし、つながるために～

内 容：日本語教室の活動、運営、ネットワークづくり等について

期 間：平成 21 年 10 月～平成 22 年 1 月 (3 回×2 会場)

<西部会場> (浜田市)

月 日：①平成 21 年 10 月 17 日(土)

②平成 21 年 12 月 5 日(土)

③平成 22 年 1 月 23 日 (土)

場 所：①県浜田合同庁舎、②いわみ～る、③県立大学浜田キャンパス

参加者：①15 人、②11 人、③7 名 (行政職員含む)

＜東部会場＞（松江市）

月 日：①平成 21 年 10 月 18 日（日）

②平成 21 年 12 月 6 日（日）、

③平成 22 年 1 月 23 日（日）

場 所：松江市市民活動センター

参加者：①10 人、②8 人、③12 人（行政職員含む）

#### 4 一般旅券発給補助事業 《受託事業・県》

##### （1）一般旅券発給補助事業

一般旅券発給に係る補助業務を行った。

#### 5 総務管理事業

##### （1）理事会、経営委員会の開催

理 事 会 第 1 回 平成 21 年 6 月 22 日（月）

第 2 回 平成 21 年 9 月 29 日（火）

第 3 回 平成 22 年 2 月 22 日（月）

経営委員会 第 1 回 平成 21 年 6 月 17 日（水）

第 2 回 平成 21 年 9 月 7 日（月）

第 3 回 平成 22 年 2 月 17 日（水）

会場はいずれも、市町村振興センター(タウンプラザしまね)3階 特別会議室

##### （2）賛助会員の募集

平成 21 年度実績			742 千円
・個人会員	90 人	100 口（1 口	3,000 円）
・交流団体会員	5 団体	9 口（1 口	10,000 円）
・企業会員	25 団体	35 口（1 口	10,000 円）

## 6 特別会計

### (1) しまね国際研修館運営事業

#### ア しまね国際研修館運営事業

外国人研修生・A L T等に日本語研修を「しまね日本語支援協会」との協働により実施し、宿泊研修施設「しまね国際研修館」の管理・運営を行った。

日本語研修：15 講座（うち西部 1）      うち自主日本語研修：2 講座

利用団体：10 団体（うち西部 1）

利用者数：85 人（中国 61、アメリカ 14、アイルランド 3、モンゴル 2、南アフリカ 2、  
バータ 1、韓国 1、ロシア 1）

#### イ 日本語研修受託事業《受託事業・松江市》

松江市が姉妹友好提携先の一つである中国・銀川市から職員を受け入れるにあたり、滞在期間中の日本語研修及び生活指導を行った。

受入期間：平成 21 年 11 月 9 日～11 月 27 日

人数：2 人

### (2) 海外渡航支援事業

旅券申請に必要な証明写真の撮影や収入印紙、県証紙、葉書等を販売した。

利用者数 7,521 人(のべ)

(単位：円)

	購入額	販売額	手数料収入等	備考
収入印紙等	59,147,655	59,264,515	871,114	ハガキ・切手含む
県収入証紙	10,643,000	10,648,600	335,254	
手数料収入合計			1,206,368	